

自学ノートで「自学力」を育てよう

宿題（義務）から、自ら進んで考え、自ら学ぶ自学ノートへ

「Society5.0」「VUCAワールド」・・・変化の激しい未来の予測が不可能な時代が到来しようとしています。生徒が豊かな人生を切り拓き、よりよい社会の創り手として成長していくことは、私たち教員の願いでもあります。そのような生徒の未来像を描くとき、授業はもちろんのこと、家庭学習を充実させることは大切です。

生徒はテレビやゲーム、スマホなど、誘惑が多い環境の中で、家庭学習に取り組んでいくこととなります。だからこそ、

自学力「自ら目標を立ててやるべきことに気づいて主体的に学習し、学習を見直したり修正しながら自らの学びをブラッシュアップする力」

が求められています。自学ノートの取組を通じて生徒の「自学力」を育てていきましょう。

生涯に渡って学び続けていくために、中学校で身に付けた「自学力」は人生の宝になります。

家庭学習の現状（R3年度）

めやすの時間を行っている

40%

学習の計画を立てている

53%

家庭では・・・

教師というペースメーカーがいない
テレビやゲーム、スマホなど誘惑が多い
教育力によって影響を受けやすい



計画する

学習する

確かめる

見直す

生徒	自分の課題にそった目標や計画を立てる	計画にそって主体的に学習する	学習の結果や取組を振り返り、確かめる	学習の方法・内容を見直し、修正する
教師	○ワークのどこを学習するか示す ○テスト計画表を準備する	○担任・副担任で確認する ○良い点を具体的にほめる	○成果と課題を振り返らせる ○アンケートを実施する	○新たな計画を確認し、励ます

※学習委員会を中心に各種キャンペーンを行う

めやすの時間

1年生 80分
2年生 90分
3年生 100分



R3年度 自学アンケートより

- ・毎日やることで学習能力が定着していった
- ・家庭学習をする習慣が身についた
- ・持続する力がついた
- ・学習力が上がった